



# 東部教育事務所社教便り『社窓No.58』

東部教育事務所



## 令和6年度 東部文化財保護連絡協議会

東部教育事務所（文責：尾知）  
安芸市矢ノ丸1-4-36

TEL：0887-34-3591・FAX：0887-34-3592  
E-mail：310304@ken.pref.kochi.lg.jp

令和6年11月28日（木）に芸西村にて標記の会が開催され、東洋町から香美市まで29名の参加がありました。この会は、県東部地区の市町村における文化財保護関係者等の参集を求め、専門的な事項について研修を実施し、市町村の文化財保護体制の充実を資することを目的としています。今回は芸西村の文化財の紹介や保護の現状を知るよい機会になりました。



### 【講演】「芸西村文化資料館の文化財の保存と活用について」

ほった ゆきお  
芸西村文化財保護審議委員 堀田 幸生 氏

芸西村文化資料館・筒井美術館の歴史についてお話をいただきました。

芸西村文化資料館は1985年11月に開館され、年間2000人程度の来館がありました。平成8年に芸西村出身の筒井広道先生の油絵の寄贈を受けて、二階が現在のような美術館仕様になりました。私が平成28年に着任されてから現在までに民具の収集や保管倉庫の整理をし、貴重な文化財を保護するとともに、地域で活用できるように取り組んできました。例えば、バックヤード見学などができるように解放しています。バックヤードには、様々な時代の民具がたくさんあり、その当時を知っている方にとっては懐かしさを感じるのではないのでしょうか。是非、一度訪れてみてください。



江戸時代に実際に使われていた籠です。ロマンを感じますね。

データベース化しているので、どこにどんなものが所蔵されているのか把握されています。

館内の様子や過去の企画展の軌跡もあります。



これは神社にあったもので、風雨によって、すり減っています。丁寧に修復してします。



小・中学校の社会科の学習で児童・生徒が見学するのに最適だと感じました。

## 【講演】「芸西村住吉海岸のメランジュについて」

高知大学海洋コア国際研究所客員教授 なかやま けん 中山 健 氏

みなさんは芸西村のメランジュをご存じですか？メランジュとは、泥岩等の基質中に、数センチメートルから数キロメートルに達する様々な大きさ・種類の異質性・準原地性の岩塊が含まれているものです。簡単に言うと長い年月をかけて地層になっていたものが地殻変動の沈み込みでごちゃ混ぜになって地表に現れたものです。芸西村の西分漁港から東の方にメランジュ群が伸びています。中山先生が子どもの時の遊び場だったということで、「まさか世界的に有名な場所になるとは、思ってもいませんでした。」とおっしゃっていました。

現地に行って実際に見てみると層の切れ目やメランジュの様子がよく分かりました。



西分漁港に入ると至る所にメランジュ群があふれています。看板なども立っており、ガイドなしでも楽しめます。

磁石を持っていくとくっつきます。びっくりです！



海岸線に沿って見やすい環境です。地層の学習にも役立ちます。

毎年、2つの市町村で文化財の保護についての研修を行い、後世に残していこうと日々活動されています。現地へ赴き、実際に見たり触ったりすることで素晴らしさがよく分かります。これからも文化協会としてこの活動を続けていきたいと考えています。

## 高知県生涯学習ポータルサイト「まなび場 Search」のご紹介



県では、県内のあらゆる生涯学習に関する講座などの情報と、ボランティアの募集情報等を掲載したポータルサイト「まなび場 Search」を開設しています。

ぜひ一度、「まなび場 Search」でご自身にあった講座等を検索してみてください。

また、ポータルサイトに掲載したい講座等の情報がありましたら、下記までお問合せください。

<https://manaviva-search.jp/>



《問い合わせ先》  
高知県生涯学習支援センター  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目 1-10 高知県立公文書館3階  
電話/088-855-7606 FAX/088-855-7607 Mail/info@kolec.jp  
開館日/月・火・木・金 開館時間/8時30分~17時15分

東部教育事務所社教便りについてのご意見・ご感想はこちらへお願いします。→

